【留意事項】本理由書の記載内容は、紹介受診重点医療機関の選定にかかる協議に使用しますが、理由書の提出により、自動的に「紹介受診重点医療機関」として選定される訳ではありません。

**理由書**

**（再編等の予定があり、再編等後の医療機関について紹介受診重点医療機関への意向がある理由）**

＜医療機関名称＞ 泉大津急性期メディカルセンター

再編等後の医療機関について、紹介受診重点医療機関への意向がある理由は下記のとおりです。**※以下を参考に、理由の記載をお願いします。**

**・再編・移転前後の紹介受診重点外来の実施状況（見込み）**

**・地域の外来機能の明確化・連携の推進のための取組（例：再編・移転後の外来における人材の配置予定数や高額等の医療機器・設備の保有予定、地域における外来医療の連携体制の構築状況など）**

府中病院は、紹介受診重点医療機関として令和5年8月1日に公表され、医療資源を重点的に活用する入院前後の外来（悪性腫瘍手術の前後の外来等）、高額医療機器・設備を必要とする外来（外来化学療法や外来放射線治療等）を実施しています。

この度、令和6年12月1日に泉大津市立病院と再編統合し、高度急性期機能・急性期機能を集約した泉大津急性期メディカルセンターを開院します。これに伴って、府中病院で主に紹介受診重点外来を担っている診療科[がん医療に携わる外科、血液内科、放射線治療科等]を泉大津急性期メディカルセンターが継承するため、同センターの紹介受診重点医療機関の選定を希望します。

**・紹介受診重点外来の実施状況**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 重点外来の占める割合 | | A：初診外来 | | C:再診外来 | |
|  | 初診：B/A | 再診：D/C |  | B：重点外来 |  | D：重点外来 |
| A:再編前（R4年度実績） | 65.6％ | 37.0％ | 18,258人 | 11,985人 | 168,997人 | 62,522人 |
| B:除外患者 | - | - | 3,173人 | 82人 | 70,495人 | 33,988人 |
| C:再編後（見込み） | 78.9％ | 29.0％ | 15,085人 | 11,903人 | 98,502人 | 28,534人 |
| A：再編前（R4年度実績）  B：再編統合によって泉大津急性期メディカルセンター以外の施設へ継承される診療科の患者  抽出方法は、レセプトデータより診療科別・診療点数・入退院日を基に除外患者を抽出  C：再編後（見込み）［A-B］ | | | | | | |

**・地域の外来機能の明確化・連携の推進のための取組**

**・再編・移転後の外来における人材配置予定**

　　　専門外来、外来化学療法、外来放射線治療、内視鏡検査等を実施する医療従事者について、現在と同数を配置する（常勤換算人数：医師104名、看護師（外来従事者）35名、放射線技師30人、臨床検査技師34人等）。

**・高額等の医療機器・設備の保有予定**

　　　下記のとおり、高額等の医療機器・設備を充実させ、現在よりも紹介受診重点外来患者を受け入れ　る体制を整える。

CT2台⇒3台、MRI2台⇒2台、内視鏡室6室⇒6室

リニアック1台⇒2台（サイバーナイフ1台新規導入）

**・地域における外来医療の連携体制の構築状況**

　　　専門外来や地域医療連携室、総合相談センター等の機能を設置し、現状の連携体制を継続する。

　　　府中病院へ紹介を行っていたクリニック等に対し、再編統合後は泉大津急性期メディカルセンターに紹介するように説明を実施している。

**府中病院診療実績（2023年度）**

①救急医療、高度専門医療（新入院：9,397件/年、救急搬送件数：5,973件/年、手術件数5,758件/年）。②外来化学療法（延件数4,322件/年）、放射線治療（延件数2,061件/年）、内視鏡検査・治療（上部：4,706件/年、下部：3,538件/年）。③専門的診断・治療を目的とした患者の受入（紹介患者1,824件/月）。